



かんせいちゅうがっこう

寛政中学校だより

だいごう
第9号

れいわ ねん がつ はつ か かんせいちゅうがっこう
令和8年 1月20日 寛政中学校

「苦しいとき、逆境にどう立ち向かうか」

こうちょう なかむら まさかず
校長 中村 雅一

しんねん
新年あけましておめでとうございます。

2026年(ねん)がスタートしました。生徒(せいと)の皆さん、今年(ことし)もどうぞよろしくお願(ねが)いします。

また、日頃(ひごろ)より本校(ほんこう)の教育活動(きょういくかつどう)にご理解(りかい)ご協(きょう)力(りき)をいただいている皆様(みなさま)に、心(こころ)より感謝(かんしゃ)申し上げます。

■ 新年(しんねん)を迎(むか)えて

3年生(さんねん)は、卒業(そつぎょう)まであと2か月(げつ)を切りました。多くの3年生(さんねん)は、卒業(そつぎょう)の前に大きな試練(しれん)の場(ば)である「入試(にゅうし)」が、このあと控(ひか)えています。

1・2年生(ねんせい)は、学年末テスト(がくねんまつ)まで残り(のこ)り1か月(げつ)となりました。時間(じかん)に限り(かぎ)はあっても、ぜひ全(ぜん)力(りき)を尽(つ)くしてほしいと思います。

■ 全(ぜん)力(りき)を尽(つ)くすことを「習慣(しゅうかん)」に

さて、限(かぎ)られた時間(じかん)やルール内(ない)で行(おこな)われるスポーツや競技(きょうぎ)では、審判(しんぱん)の笛(ふえ)が鳴(な)るまで、タイムアップのブザー(な)が鳴(な)るまで、全(ぜん)力(りき)を尽(つ)くすることが大切(たいせつ)です。

そのためには、全(ぜん)力(りき)を尽(つ)くすこと自(じ)体(たい)を体(からだ)に覚(おぼ)えさせ、習慣(しゅうかん)化(か)していくこと、つまり、日々(ひび)のルーティン(ひつてい)が必(ひつ)要(よう)なのだと思います。

■ あきらめないプレーが生(う)むもの

たとえば、野球(やきゅう)で自(じ)分(ぶん)の打席(だてき)がピッチャーゴロ(ぼんど)の凡打(ぼんだ)だったとしても、全(ぜん)力(りき)で一(いち)塁(るい)に走(はし)る。

バスケットボールで、ドリブル(どりぶる)しているボールを相手(あいて)にスチール(すちール)されてしまい、たとえ追(お)いつけないと分(わ)かっていても、全(ぜん)力(りき)でゴール(ごーる)に向(む)かう相手(あいて)を追(お)いかける。

バレーボールで、どんなに遠(と)く離(はな)れたボールでも、必(ひつ)死(し)に追(お)いかけてレシーブ(れしーぶ)に飛(と)び込(こ)む。

これらは、最(さい)後(ご)の最(さい)後(ご)まであきらめない姿(すがた)を習慣(しゅうかん)化(か)していくために、とても大切(たいせつ)なことです。

サッカーでも同(おな)じです。守備側(しゅびがわ)の選手(せんしゅ)が相手(あいて)FW(ふう)に抜(ぬ)かれ、ドリブル(どりぶる)でゴール(ごーる)に向(む)かわれたとき、そこで追(お)うことをあきらめてしまえば、あとはシュート(しゅーと)を決(き)められるだけです。しかし、抜(ぬ)かれたあとも全(ぜん)力(りき)で食(く)らいつければ、相手(あいて)にプレッシャー(ぷれっしゃー)をかけることができます。その結果(けつこ)、シュート(しゅーと)が外(はず)れることもあるかもしれません。

追(お)わないという選(せん)択(たく)は、外(はず)れたボールを拾(ひろ)う機(き)会(かい)を自(みづ)ら放(ほう)棄(き)することと同(おな)じです。野球(やきゅう)もバスケットボールもしかり、バレーボールにいたっては、取(と)れるか取(と)れないかのボールに飛(と)び込(こ)むことが、「フライングレシーブ」という技(ぎ)術(じゆつ)にもなっているくらいです。

■ 「奇跡(きせき)の1ミリ(ひつぜん)」は必(ひつ)然(ぜん)だった

まだ記(き)憶(おく)している人もいかもしれませんが、前(ぜん)回(かい)のサッカーワールドカップ、スペイン戦(せん)で生(う)まれた決(けつ)勝(しょう)ゴール(ごーる)の場(ば)面(めん)です。

ゴールライン(ごーるらいん)を割(わ)りそうになったクロスボールに、最(さい)後(ご)まであきらめず走(はし)り込み(こ)、左(ひだり)足(あし)を伸(の)ばしてゴール前(まへ)に折(かえ)り返(かえ)した三(さん)笥(き)選手(せんしゅ)。そのボールに合(あ)わせた田(た)中(なか)選手(せんしゅ)のゴールは、VAR(ばる)の末(すえ)、わず(わず)か1.88ミリ残(のこ)っていたとして認(みと)められました。世界(せかい)中(ちゅう)から「奇跡(きせき)の1ミリ」と呼(よ)ばれましたが、あ(あ)のプレーは、日々(ひび)の練(れん)習(しゅう)によ(よ)って身(み)につけた良(よ)い習慣(しゅうかん)が生(う)んだものであり、決(けつ)して偶(ぐう)然(ぜん)ではなく、「必(ひつ)然(ぜん)」だったのだと思います。

■ 『スラムダンク』が教(おし)えてくれること

少(すこ)し前(まへ)の映(えい)画(が)にな(な)りますが、『スラムダンク』の中(なか)でも、似(に)た場(ば)面(めん)があります。

36対58の24点(てん)差(さ)で負(ま)けている湘北(しやうほく)高(こう)校(こう)。安(あん)西(せい)監(かん)督(とく)の言(ごん)葉(え)、

「私(わたし)だけか……？ まだ勝(か)てると思(おも)っているのは……」 「諦(あきら)めたら、そ(そ)こで試(し)合(あ)終(しゅう)了(りょう)ですよ」

この言葉に背中を押され、桜木花道は、コート外に出そうになったボールを追い、観客席に飛び込みながら、ボールをコート内の味方に投げ入れる闘志を見せます。リバウンドを取ることが自分の役目だと信じ切り、ボールに集中する中で、この後、湘北の追撃が始まります。

ゴールシーンはいつも華やかですが、ボールを追いかけること、リバウンドに何度も飛び込むこと、ディフェンスで粘ることなど、地味でも泥臭く戦う姿勢が、成功への道を切り拓きます。

また、「苦しい時こそ頑張る」ことは、まず自分自身に、そして仲間に、さらに観ている人にも、「勇気」や「元氣」を与えることになり、勝敗の如何にかかわらず、自分自身の成長や自信につながっていくのだと思います。

■ 逆境は、いつか財産になる

ところで、湘北に逆転負けをした山王工業の監督は、選手たちにこう語りかけます。

「負けたことがあるというのが、いつか、大きな財産になる」

山王のエース、沢北選手は泣き崩れて立ち上がられません。実は、この全国大会の直前、彼は「俺に必要な経験をください」と神社で祈っていました。その願いは、今まで経験したことのない「逆転負け」という最も苦しい形で叶いました。しかし、その悔しい経験を糧に、彼は夢だったNBAの舞台に立ちます。

■ 挑戦する勇気を称えたい

話は戻りますが、前回のワールドカップ、日本代表は、決勝トーナメント1回戦でクロアチアとのPK戦の末、敗れ、ベスト16の壁を破ることはできませんでした。直後のインタビューで、森保監督はこう語っています。

「これから先に、日本サッカーが最高の景色を願ひ続ければ、必ず壁は乗り越えられます」

森保監督の言う「最高の景色を願う」とは、「W杯優勝を目指す」ことだと思いました。

ベスト8の目標や、ベスト8への準備では、ベスト8の達成は難しく、頂点を目指して戦うこと、その準備をしていくことでしか、「ベスト16の壁は破れない」ということなのだと思います。

また、この時の日本のPK戦では、立候補した選手がキッカーを務めました。最初の南野選手が名乗り出るまで、5秒の沈黙があったそうです。名乗り出たことで責任感や重圧感が増したことは事実でしょう。しかし、その重圧の中で狙ったコースに射抜く技術や精神力を身に付けた先に成功があり、その成功体験が自信となっていくのだと思います。

そのためには、ひたすら練習しかありませんが、チャレンジを名乗り出たことは、目の前の結果が失敗であっても、将来の大きな成功につながる失敗だと思い、リスペクトしたいです。

「PKを外すことができるのは、PKを蹴る勇気を持つ者だけだ」

これは、「イタリアの至宝」と呼ばれたロベルト・バジジョの言葉です。

逆境に立たされたときに、私たちはどう振る舞うのか。苦しいときこそ、その姿勢が自分自身を成長させ、仲間に勇気を与えます。あれから4年、2026年6月、日本代表の戦いが今から楽しみです。

■ 新年に寄せて

新年のスタートにあたり、心を奮い立たせ、時にそっと包み込んでくれる漫画の名言をいくつか紹介します。どうぞ良い一年を迎えてください。

(令和8年 1月 元日)

「正々堂々とやって負けて かつこ悪いことあるかー!!」(「ちはやふる」)。競技かるたにかけろ。青春が輝く。

「才能とは自分を 自分自身を信じることです」(「ガラスの仮面」)。演劇に生きる。信じる力が力に。

「平凡な俺よ 下を向いている暇はあるのか」(「ハイキュー!!」)。高校バレーボール。力を振り絞ろう。

「心を燃やせ 歯を食いしばって前を向け」(「鬼滅の刃」)。鬼と人の壮絶な戦い。くじけないで。

「俺の敵は だいたい俺です」(「宇宙兄弟」)。困難に挑む宇宙飛行士。自分に負けない。

「生きるための逃げは有りです。有り有りです」(「銀の匙 Silver Spoon」)。農業高校の日々。逃げてもいい。

大切なのは自分を守ること。

「人の夢は!!! 終わらねェ!!!!」(「ONE PIECE」)。海賊ルフィと仲間たちの冒険。熱く燃えろ。

「なりたい自分になりたいじゃん」(「アオハライド」)。高校で再会した初恋の相手への思いを描く。

かきぞ たいかい 書初め大会

ふゆやす かいだい かいぞ てんじ はじ じゅしやうしや い か どお ねんかわばた まつもと
冬休みの課題であった「書初め」の展示が始まりました。受賞者は以下の通りです。3年川端さん、松本さん、2年渡邊さん、1年米田さんの4名の作品は令和7年度横浜市立学校総合文化祭に出品します。

金賞

3年 川端 明日香さん、松本 彩花さん

2年 渡邊 あんりさん

1年 米田 紗衣さん

5組 大越 ケンゾウさん

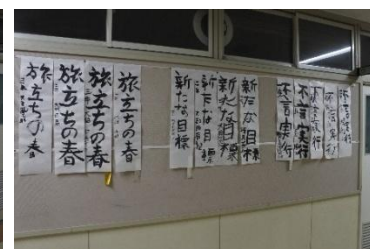
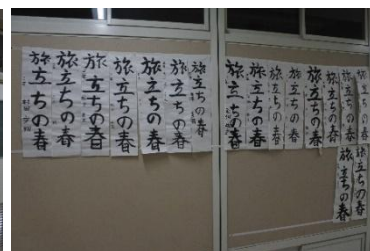
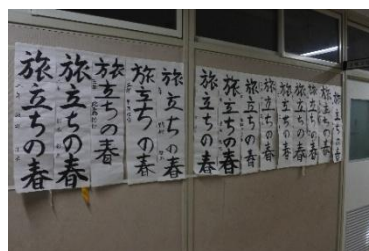
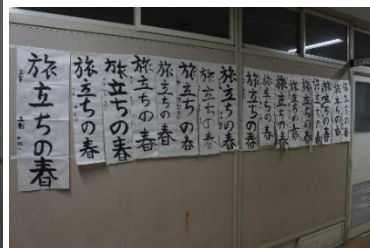
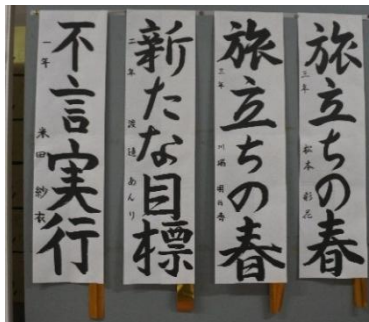
銀賞

3年 岡 優奈さん、小川 藍理さん、
渡邊 芽衣さん

2年 新垣 怜奈さん、江津 直夏さん、
仲田 亜珠沙さん

1年 阿部 ゆいかさん、小室 妃織さん、
比嘉 小百合リリアンさん

5組 池間 姫歌さん、カビドグ シャンさん、
児玉 遥斗さん



ねん 2026年カレンダーを くみ せいと つく 5組の生徒が作りました

こんねんど 今年度も5組で2026年のカレンダーを作成しました。カレンダーは壁掛けタイプで、各教室に掲示してあります。各月の切り絵は5組の生徒一人ひとりが、一生懸命作成したものです。個性豊かな作品に仕上がりました。全校のみなさんに喜んでいただけると嬉しいです。



しんせいとかいほんぶやくいん 生徒会本部役員

生徒会本部役員選挙が12月10日に行われ、生徒会本部役員のメンバーと役職が決定しました。公約として掲げていたことを実現させ、さらによりよい寛政中学校を作り上げていってほしいです。よろしくお願いします。

生徒会長	星 優喜さん	(2年2組)
副会長	松浦 悠希さん	(2年1組)
副会長	赤前 勝一さん	(2年2組)
会計	山崎 翔太さん	(2年1組)
会計	比嘉 小百合リリアンさん	(1年2組)
書記	新垣 怜奈さん	(2年2組)
書記	金刺 七海さん	(1年2組)



生徒朝会で認証を受ける生徒会本部役員



生徒朝会の様子

2月の主な予定

2月2日(月)	放課後学習会	18日(水)	放課後カフェ(NPO法人OMOSHIRO)
6日(金)	新入生保護者説明会	17日(木)~	3年生特別時間割
9日(月),10日(火)	2年生かなテク	25日(水)	放課後学習会
12日(木)	2年生平和学習講演会	26日(木)	1年生職業講話
13日(金)	学習相談	27日(金)	2年生学力分析テスト、5組お別れ遠足
17日(火),18日(水)	1,2年学年末試験		

スクールカウンセラー来校日：3日(火)、5日(木)、10日(火)、12日(木)、19日(木)、24日(火)

相談室直通電話：045-511-0967 (火：柳澤SC、木：池澤SC)

来校日に留守番電話のメッセージを確認します